

事務事業名	伊那谷自然資料調査研究事業				会計	一般会計	実施区分	継続	
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名	美術博物館				
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり						
	施策	61	地域資源の発見・資産化						
目的	対象(誰・何を)	1 伊那谷を中心とした自然				対象指標	指標名及び単位		28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	1 自然の中から収集した資料は、調査・整理し保存する					伊那谷(飯田下伊那および上伊那)の面積(平方キロメートル)		3277.47
	向上させたい上位施策の成果指標	見出された地域資源の数(累計)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	年度内に収集した資料の数			300	230	300	450	
	成果指標	整理・登録した資料の総数(登録資料点数)			80188	82592	85592	85916	
定性目標									
事業概要	1 本事業は飯田市美術博物館において、伊那谷の自然に関する資料および情報の継続的な収集、整理、研究活動を行う。 2 その中には、地域の自然を研究対象としている研究者への支援と成果を発表する印刷物発行事業を含む。 3 コレクションを受入れ整理し、保存する。								
	事業内容								
28年度事業内容	1 伊那谷の自然史に関する調査、研究、資料整理の実施 成果を企画展や教育普及で利用				1 野外でののべ調査日数		1 123日		
	2 未整理未登録資料のマウントと登録、寄贈コレクションの整理登録の推進				2 登録資料数		2 3,324点		
	3 地域研究者(団体)への研究支援				3 地域史研究協力者数		3 4人		
	4 大学、研究所、学会等の研究機関と連携した研究の実施				4 研究機関との連携数		4 11件		
	5 伊那谷自然史論集の発行				5 自然史論集掲載論文数		5 7本		
	6 学会大会等での研究発表				6 研究発表数		6 13回		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		8,339	6,993	6,846	0	(そ) 諸収入			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		450	300	320					
一般財源		7,889	6,693	6,526					
人件費計(千円)②		0	0	0	0				
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		8,339	6,993	6,846	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り		南アルプス南部での生物調査を行い、企画展および常設展示の更新に向けた資料集数を行うことができた。また、「バレオパラドキシア」の化石を発見することができた。地域史研究の成果を伊那谷自然史論集や学会発表などを通じて公表した。登録資料点数、調査日数、研究発表数のいずれも、目標を上回る結果を残すことができた。							
改革改善の考え方	①問題点	慢性的な収蔵スペースの不足。常設展示の更新に向けた南アルプスなど山岳地帯での資料収集が引き続き必要である。							
	②改革提案	収蔵スペースの確保について、常設展示の更新も絡めて具体的な解決策を検討する。29年度も引き続き高山帯、亜高山帯の調査を地域史研究事業の中に位置づけ、重点的に調査をおこなう。							